

## 悪魔の誘惑

ルカによる福音 4:1-13

(そのとき、) イエスは聖霊に満ちて、ヨルダン川からお帰りになった。そして、荒野の中を“霊”によって引き回され、四十日間、悪魔から誘惑を受けられた。その間、何も食わず、その期間が終わると空腹を覚えられた。そこで、悪魔はイエスに言った。「神の子なら、この石にパンになるように命じたらどうだ。」イエスは、「『人はパンだけで生きるものではない』と書いてある」とお答えになった。更に、悪魔はイエスを高く引き上げ、一瞬のうちに世界のすべての国々を見せた。そして悪魔は言った。「この国々の一切の権力と繁栄とを与えよう。それはわたしに任されていて、これと思う人に与えることができるからだ。だから、もしわたしを拝むなら、みんなあなたのものになる。」イエスはお答えになった。

「『あなたの神である主を拝み、ただ主に仕えよ』と書いてある。」そこで、悪魔はイエスをエルサレムに連れて行き、神殿の屋根の端に立たせて言った。「神の子なら、ここから飛び降りたらどうだ。というのは、こう書いてあるからだ。『神はあなたのために天使たちに命じて、あなたをしっかりと守らせる。』また、『あなたの足が石に打ち当たることのないように、天使たちは手であなたを支える。』」

イエスは、「『あなたの神である主を試してはならない』と言われている」とお答えになった。悪魔はあらゆる誘惑を終えて、時が来るまでイエスを離れた。

### 説教

もし、イエスさまが悪魔の申し入れを「それも悪くはないな」と受け入れているとすれば？

- 1) 石をパンになるように命じれば、世界の飢え、貧困はなくなります。

2) イエスさまが一切の権力、繁栄を手に入れていけば、イエスさまの支配による世界が実現します。

**悪魔は言った。「この国々の一切の権力と繁栄とを与えよう。それはわたしに任されていて、これと思う人に与えることができるからだ。だから、もしわたしを拝むなら、みんなあなたのものになる。」ルカ 4:6-7**

3) 奇跡を自在にあやつることができれば、瀕死の状態の人々を救うことができます。

貧困はなくなり、横暴で悪魔のような権力者はいなくなり、不治のやまいも奇跡によって癒されます。いいことづくめのように思えます。

でも、イエスさまは悪魔の申し出をことごとく退けられました。

なぜ、悪魔の提案を排除するのか、それはイエスさまが神の子であり、悪魔の子ではないからです。

**「時は満ち、神の国は近づいた。悔い改めて福音を信じなさい」と言われた。マルコ 1:15**

イエスさまは神の国を目指していて、悪の帝国を築くために福音を伝えようとしていないからです。いま生きている現実がどのような世界であれ、悪魔が生きている世界と、イエスさまの生きる世界とはまったく違うということをおぼろげにわたしたちは改めて理解しましょう。

イエスさまの姿は、完全に「御父と聖霊との愛の交わり」に生き、それによって支えられています。三位一体の交わりに信頼し生きている姿です。イエスさまにとって、神の子であるとは、神は御父でイエスさまは御父に愛された子であるということ、それ以外には何もいらぬのです。そして、イエスさまは、神である御父をととても愛しているということ。それが、イエスさまにとって、神の子という事なのです。聖霊に満たされ御父との愛と信頼の世界に生きる姿を、イエスさまはこの荒れ野での悪魔からの誘惑のさなかに、私たちに示してくださっています。

**だから、もしわたしを拜むなら、みんなあなたのものになる。ルカ 4:7**

イエスさまは悪魔を拜むことを拒否しました。この大いなる拒絶によってイエスさまは世界のすべての国々を支配する機会を逃し、現在も続いています。イエスさまが荒野での悪魔の誘惑にあわれてから 2000 年の時がすぎ、現実の世界をほめたたえることができない「今」に生きるわたしたちは悪魔の誘いを拒絶したイエスさまを改めて見習う必要があります。核による世界支配、富の偏りによる貧困、イエスさまの拒絶の隙間を狙うように悪魔の世界は広がっています。

それでも、それだからこそ、イエスさまに満ち溢れている恵みに、聖霊に満たされ御父との愛と信頼の世界に生きる姿に、わたしたちも繋がって歩いていく恵みを頂けますように。

-----